



CONTENTS

トップコミットメント…………… 3
 「×ICT」でより豊かな社会の実現をめざして、さらに多くの方が一歩前へ進み、挑戦するためのパートナーになりたい。

NTT西日本グループのCSR…………… 5
 マネジメント…………… 7

 **コンプライアンスの徹底** 9
 コンプライアンス推進…………… 9
TOPICS
 「NTT西日本グループのCSR重点5項目」の啓発ポスターを作成…………… 10

 **安心・安全な社会づくり** 11
 お客さま・地域社会の安心・安全確保…………… 11
TOPICS
 伊勢志摩サミットにおけるサイバーセキュリティ対応… 12
 熊本地震への対応…………… 14
 社員の安心・安全確保…………… 17
TOPICS
 安全大会2015 in 関西…………… 18

 **事業を通じた価値創造** 19
 お客さまに対する価値創造…………… 19
TOPICS
 “地域全体で高齢者を見守る”土佐町「安心安全見守りシステム」構築への取り組み… 20
 地球環境に対する価値創造…………… 21
TOPICS
 お客さまからのお申込み～回線開通までに利用している紙資源の削減について…………… 24
 地域社会に対する価値創造…………… 25
 社員に対する価値創造…………… 27
TOPICS
 NTT西日本陸上競技部 堀越 信司さんがリオ・パラリンピックのマラソンで4位入賞…………… 28

NTT西日本の会社概要…………… 29
 NTT西日本のホームページに掲載している主なCSR関連情報…………… 30

参考にしたガイドライン

- GRI※「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」4.0版
 - 環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
- ※ GRI (Global Reporting Initiative) の略は、企業の「持続可能性報告書」の国際的なガイドラインを発行している国際的組織で、UNEP (国連環境計画) の公認協力機関。世界各国の企業、コンサルタント、NGO、会計士団体、事業者団体などのマルチステークホルダーが参画しています。

対象範囲

- 基本的にNTT西日本、NTT西日本グループ28社を対象とし、NTT西日本単体を示す場合は「NTT西日本」と表記しています。
- 対象範囲の異なる場合は個別に記載しています。

対象期間

- 2015年4月1日～2016年3月31日
- * 一部内容に2016年4月以降の活動を含まれます。

次回発行予定

- 2017年10月

報告形態

本誌は、ステークホルダーの皆さまにとって重要と思われる情報、NTT西日本グループがお伝えしたい情報を厳選して掲載しています。

なお、誌面の都合上掲載できなかったさまざまな取り組みや詳細なデータなどは、できる限り詳しく報告できるようWebサイトで掲載しています。

編集方針

本報告書は、NTT西日本グループにおける2015年度のCSRに関する取り組みをステークホルダーの皆さまへ報告することにより、NTT西日本グループのCSRについてご理解いただき、コミュニケーションの環を広げることを目的に発行しています。

掲載内容は、2010年に「今一度、CSR活動について考える」をキーワードに、新たなCSR活動の3つの柱「コンプライアンスの徹底」「安心・安全な社会づくり」「事業を通じた価値創造」を構築し、その3つの柱に沿って、ステークホルダーの皆さまにとって重要と思われる情報、NTT西日本グループがお伝えしたい情報を選定して報告しています。

